



だいの風

日高市立武蔵台小中学校

令和5年4月10日 第1号

今年度のキーワード「対話・創造・挑戦」

学校教育目標

- 自立 かんがえる子・じょうぶな子
- 創造 かんどうする子
- 共生 なかよくする子



「開校 義務教育学校 日高市立武蔵台小中学校」



校長 秋馬 信之

本日、開校式において、日高市 谷ヶ崎照雄市長から学校のシンボルである「校旗」を授与していただき、ここに義務教育学校 日高市立武蔵台小中学校の歴史が始まりました。義務教育学校の開校は本校が県内2番目となります。

武蔵台小中学校は、義務教育期間9年間を見通したカリキュラムを編成し、系統性や連続性を重視した教育活動を行い、全ての教職員で子どもたち一人一人に寄り添ったきめ細かな指導・支援をしてまいります。また、本校はコミュニティ・スクールでもあります。コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校で、学校と保護者・地域の皆さんが共に知恵を出し合い、連携・協働しながら「地域とともにある学校をめざす」ことを目的としております。今年度は、子どもたちの豊かな学びと成長を一層支援していくために、コミュニティ・スクールの一層の充実を図っていく所存です。教職員一同、「すべては子どもたちのために」全力で教育活動に邁進していく決意でおります。今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【入学式式辞より】

1年生27名、7年生38名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんの御入学を心待ちにしていました。心より歓迎いたします。

〈1年生へ〉

毎日、元気に、笑顔で登校してください。学校は楽しいところです。分からないことや心配なことがあったら、先生やお友達や、お兄さんお姉さんに何でも聞いてください。分からないことは恥ずかしいことではありません。学校はたくさん勉強して、たくさん運動して、たくさん笑って、たくさんお友達と話をし、たくさん失敗するところです。心配はいりません。何でも聞いてください。校長先生は、元気に笑顔で登校する皆さんの姿を見るのが、大好きです。

〈7年生へ〉

新しいモノを創り出すことに「挑戦」してください。1年生から9年生まで同じ校舎で生活をするので、縦割り活動など異年齢で活動する場面が増えます。体育祭や音楽会等の学校行事の実施形態が変わったり、委員会活動や部活動も前期課程の5、6年生と一緒に活動したりする場面もあります。皆さんのアイデアを生かしていきたいと考えているので、積極的に新しいモノを創り出すことに挑戦してください。皆さんの卒業式のときに久米校長先生が言っていました。「何かをやりたいと思う情熱が未来をつくる」この言葉を忘れないでください。

2点目は、「規則正しい生活を送る」ということを心掛けてください。そのためには、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が大切です。この習慣がしっかりできれば、毎日、脳が活性化し、元気に登校できます。古代ギリシャの哲学者、アリストテレスは「人は習慣によってつくられる。優れた結果は一時的な行動ではなく習慣から生まれる」と言っています。つまり、規則正しい生活習慣こそが学習などの成果に繋がっていくのです。まずは、「早

寝・早起き・朝ご飯」これを合言葉に、健康的な毎日を過ごしましょう。

【始業式より】

皆で楽しく学校生活を送ってください。1年生から9年生まで同じ校舎で生活するので、縦割り活動など異年齢で活動する場面も増えると思います。皆で楽しく、思いやりの気持ちをもって生活をしてください。後期課程の生徒は、前期課程の児童の手本となり、下級生から憧れや尊敬の眼差しで見られるよう心掛けてください。前期課程の児童は、分からないことや心配なことがあったら、後期課程のお兄さんお姉さんに聞いてください。

また、武蔵台小中学校の児童生徒としての自覚とプライドをもって生活をしてください。武蔵台小中学校は県内2番目の義務教育学校として開校しました。前期課程の5,6年生は後期課程の先生が一部教科担任制で授業を受け持ちます。また、部活動もやりたい人は参加することもできます。更に、体育祭(運動会)や音楽会も今までと違う方法になると思います。新しい教育が始まるので、保護者・地域の方はもちろんのこと、県内外から注目されると思います。武蔵台小中学校の児童生徒として自覚とプライドをもって学校生活を送ってください。

職員の紹介